

WebAPI 及びデータフォーマット (DC-NDL) について



国立国会図書館 電子情報部
電子情報サービス課

ゆにかねっとデータ提供館のみなさま

現在データの提供方式はFTPですか？それともHTTP-GETですか・・・？

おすすめの連携方式があります！ それはOAI-PMHです！

ただし、NDLサーチに格納済の各図書館データを全件削除し、新たに各図書館データ全件を登録(=全件入替)する必要があります！

この時間は、連携方式の切り替えにともなう作業についてご説明します。

本日はこちらをご説明します



連携切替の概要



リリースまでの流れ



連携のこれから



連携切替の概要

連携切替のすすめ

NDLサーチでは、

連携方式「OAI-PMH」

データフォーマット「DC-NDL(RDF)」によるデータ提供を推奨しています

こんなメリットがあります

- メタデータ交換のために最も効率的な通信プロトコル
- 連携後はデータ更新のための作業不要
- データの更新頻度が上がる
- 文字コードがUTF-8になるため多言語に対応できる
- 実装しておくことで、当館以外との連携の可能性も広がる

こんなメリットが

NDL-OPAC 国立国会図書館 蔵書検索・申込システム

検索結果に戻る ジャンル: 7.芸術 > 74.写真 > 743.撮影技術

一瞬で心をつかむ写真が撮りたい：誰が見てもカッコイイと言われる写真が撮れる手引き
柿島達郎, 河野鉄平, 橋田龍馬, 鶴巻育子, 伴貞良, ミノタユキ 著

見る・借りる

- 国立国会図書館蔵書(NDL-OPAC) 請求記号: Y78-L1561 東京 本館書庫
- 山形県立図書館
- さいたま市立中央図書館
- 京都府立図書館
- 大阪市立図書館
- 広島市立中央図書館
- 高知県立図書館

種別 図書
記号 Y78-L1561
タイトル 一瞬で心をつかむ写真が撮りたい：誰が見てもカッコイイと言われる写真が撮れる手引き
表示 柿島達郎, 河野鉄平, 橋田龍馬, 鶴巻育子, 伴貞良 著

「見る・借りる」の各図書館名をクリックすると、該当資料の書誌詳細画面に直接リンクします。
(画面例はNDL-OPAC)

OAI-PMHとは

- データの自動収集によってメタデータを交換するためのプロトコル
- OAI-PMHリクエスト(URL)を送信すると、メタデータをXML形式で返戻
- 差分更新が可能
- RSSと異なり、deleteレコードを配信し、受け取った側でそれを用いてメタデータを削除することも可能

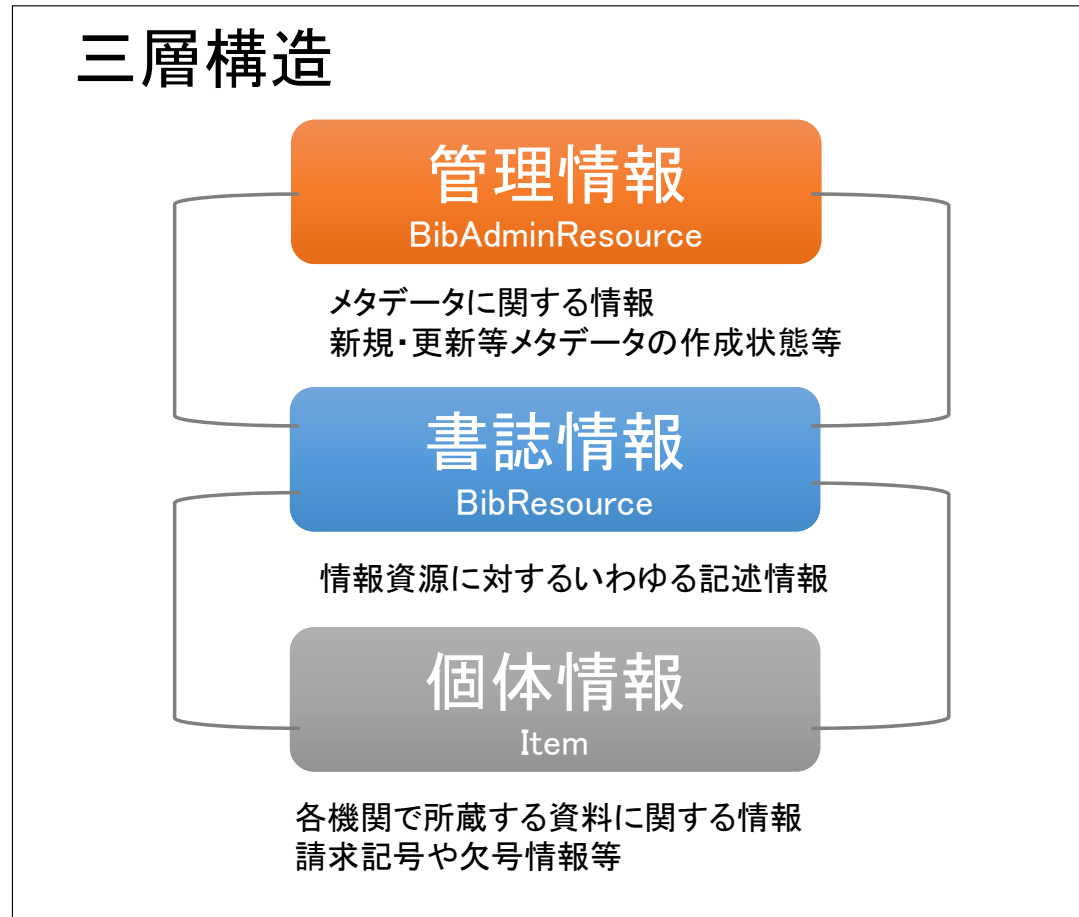
DC-NDL(RDF)とは

- 「国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述 (DC-NDL)」に基づくメタデータフォーマット
- DC-NDLは、国際的なメタデータ標準「DublinCore (ダブリンコア)」を基に、日本語対応など独自に拡張したメタデータ記述語彙および記述規則の総称

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta.html>

- 「DublinCore (ダブリンコア)」等国際的なメタデータ標準で定義された語彙に加えて、国立国会図書館のメタデータ記述で必要となる語彙を独自定義

DC-NDL(RDF)の構造



個体データが紐づいている例

書誌情報から個体情報へのリンク

```
<dcndl:BibResource rdf:about="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000000887362-00#material">
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000000887362-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I019364012-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I023310708-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I038610583-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I040251562-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I051150668-00#item" />
  <dcndl:record rdf:resource="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I054089584-00#item" />
</dcndl:BibResource>
- <dcndl:Item rdf:about="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000000887362-00#item" />
- <dcndl:holdingAgent>
  - <foaf:Agent>
    <foaf:name>国立国会図書館</foaf:name>
```

個体情報

```
- <dcndl:Item rdf:about="http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I054089584-00#item">
- <dcndl:holdingAgent>
  - <foaf:Agent>
    <foaf:name>福岡県立図書館</foaf:name>
    <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLLibCode">4011</dcterms:identifier>
  </foaf:Agent>
</dcndl:holdingAgent>
<rdfs:seeAlso rdf:resource="http://www.lib.pref.fukuoka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1104054460" />
<dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/somokuBibID">1104054460</dcterms:identifier>
<dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/somokuSubID">0101113508</dcterms:identifier>
<dcndl:callNumber>F-M32-1</dcndl:callNumber> ← 請求記号
<dcndl:availability>貸出可能資料</dcndl:availability>
<dcterms:description>所蔵場所：書庫</dcterms:description>
```

← 図書登録番号

DC-NDL(RDF)

ご注意ください、書誌データ

◆タイトル(title)はNDLサーチのシステム仕様上、書誌データの2か所に格納してください。【画面表示に影響があります。】

①dcterms:title

②dc:title

◆著者(creator)はNDLサーチのシステム仕様上、書誌データの2か所に格納してください。【画面表示に影響があります。】

①dcterms:creator

②dc:creator

◆出版年はデータ内容から判断し、可能であれば書誌データの2か所に格納してください。【検索条件と画面表示に影響があります。】

①dcterms:date

②dcterms:issued

DC-NDL(RDF)

ご注意ください、個体データ

- ◆各図書館からお送りいただくメタデータは書誌データ1件につき個体データ(item)1件です。
- ◆特に、複本の書誌が出力対象となっている場合は、正本の書誌が複数itemにならないようご対応をお願いいたします。
例：正複の書誌は別の書誌で送る
複本のitemは送付対象外とする、等
- ◆ただし、NDLサーチで書誌同定処理を行うため、NDLサーチから出力されるメタデータには複数の個体データ(item)が紐づく場合があります。

WebAPIによるシステム連携ガイドライン

- 平成26年7月 Version1.3 を公開
http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2015/06/WebAPIguideline_ver.1.3_20140715.pdf
- 「DC-NDL(RDF)」、「OAI-PMH」をはじめとする様々なメタデータ形式、通信プロトコルを使用して、NDLサーチヘデータをお送りいただき連携する場合に用いるWebAPIの仕様について説明しています。
- WebAPIの仕様について、本ガイドラインに準拠していただけると、連携作業がスムーズになります。

国立国会図書館サーチ連携マニュアル

- 平成27年2月 Version1.1 を公開
http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2015/04/renkeimanual_ver.1.1_20150218.pdf
- WebAPIを用いてNDLサーチと連携を希望する機関の方向けに、申し込みから連携開始までの流れを説明しています。
- 連携切替を実施する際は、ぜひご一読ください。

バリデータ

- NDLサーチではDC-NDL(RDF)フォーマットを前提にデータファイルの処理を行います。
- 各図書館システムから提供されるデータファイルがDC-NDL(RDF)フォーマット仕様のとおり記述されている(=NDLサーチで処理できる)ことを確認する[妥当性検証用ツール\(バリデータ\)](#)をご用意しています。
- 個々のデータ内容のチェックはできません。
- ご希望の場合に、ツールをメール添付でお送りします。お知らせください。

マッピングとは

異なるフォーマットの入出力項目をそれぞれ対応させること

例: 総合目録共通フォーマットからDC-NDL(RDF)フォーマットへのマッピング表

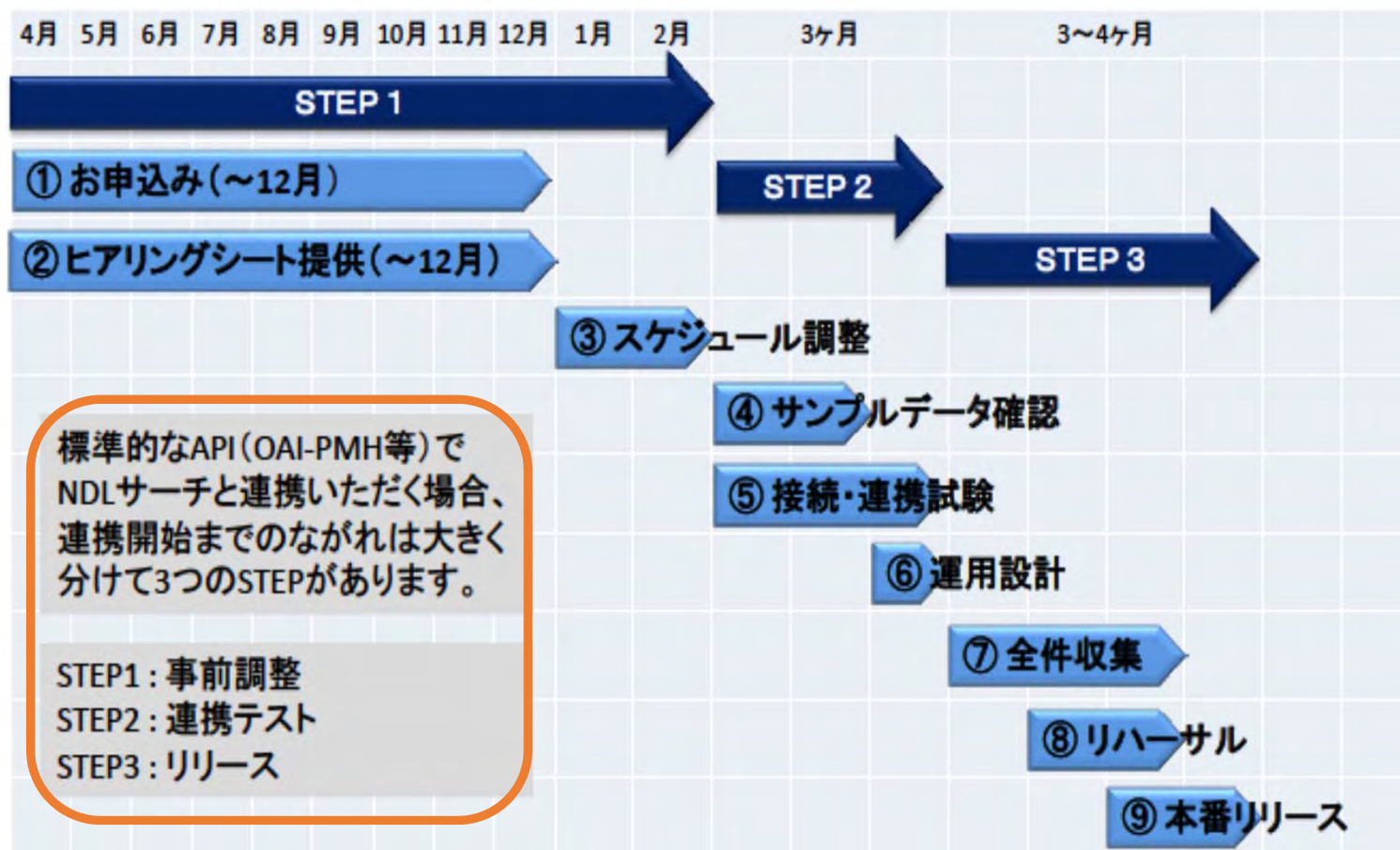
項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				必須	検索	アクセ スポ イント	繰り 返し	タグ名					属性	内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
	フィールド 群	フィールド 群名	フィールド 名	フィールド 目名					第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			
2-10	071	発売番号 (音楽録音・ 映像資料)	071A_	発売番号					dcterms:identif ier			dc:data type	発売番号/録音・ 映像資料)	データ型“dcndL:RIS502”を指定して、071A_の値をそのまま取ります。 【例】071A_NSDS-9891 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndL/terms/RIS502">NSDS-9891</dcterms:identifie >		
2-17	25n (n=1~9)	タイトルと 責任表示 に関する事 項	25nA_ 25nB_	本タイトル タイトル関 連情報					dcterms:tit le			タイトル	項番2-20で入力した値を取ります。 <dc:title>が複数ある場合は、“.”(ピリオド+スペース)の記号で連結して取ります。 【DC-NDL入力例】 <dcterms:title>一つ目の値.△二つ目の値</dcterms:title> ※※「dc:title」と「dcterms:title」の記録について※※ タイトルに関する情報は「dc:title」と「dcterms:title」の2箇所にも重複して記述しています。 「dc:title」と「dcterms:title」は以下のように使い分けています。 dc:title:タイトルと録音フォーマット(音声録音・映像化音声)場合に適用			
2-18																
2-19																

入出力項目(フィールド名やタグ名)が異なる2つのフォーマットについて、新しいフォーマットを使用した全件データをNDLサーチに格納するため、マッピング表に従って入力内容を新しいフォーマットに入れ替えます。



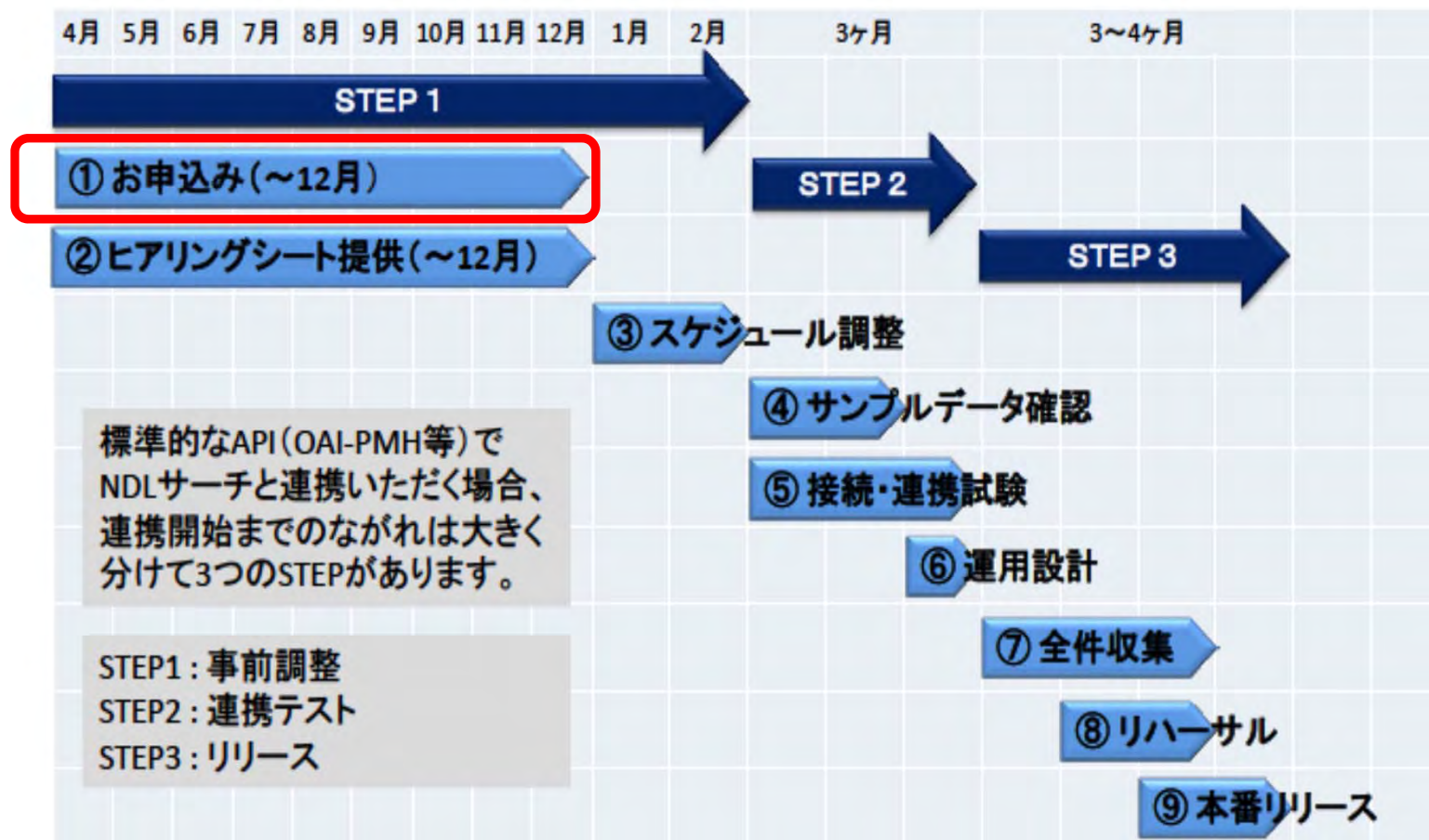
リリースまでの流れ

連携切替実現までのスケジュール(イメージ)



STEP1: 事前調整

① お申込み (いつでも、お早目に)



STEP1: 事前調整 お申込み（いつでも、お早目に）

- NDLサーチ問い合わせフォームからご連絡ください。
<https://iss.ndl.go.jp/information/contact/>
- 記入項目は「国立国会図書館サーチ連携マニュアル」に載っています。

国立国会図書館サーチ
お問い合わせ

お問い合わせのカテゴリ*

機能についてのお問い合わせ

本文*

お名前

メールアドレス

送信

※現在提供している機能及び制限事項は、「機能概要」及び「現在の制約事項」をご覧ください。また、「ヘルプ」も併せてご覧ください。

※国立国会図書館サーチでは、当館内外の複数のデータベース等を検索対象としています。検索対象となっている個々のデータ(目録・索引、デジタルアーカイブ等)の著作権は、データ提供元の機関等に帰属します。個々のデータのご利用にあたっては、データ提供元機関の利用規約に従ってください。

※個々のデータの内容に関するお問い合わせは、データ提供元のシステムまたは機関等へお寄せいただけますようお願いいたします。

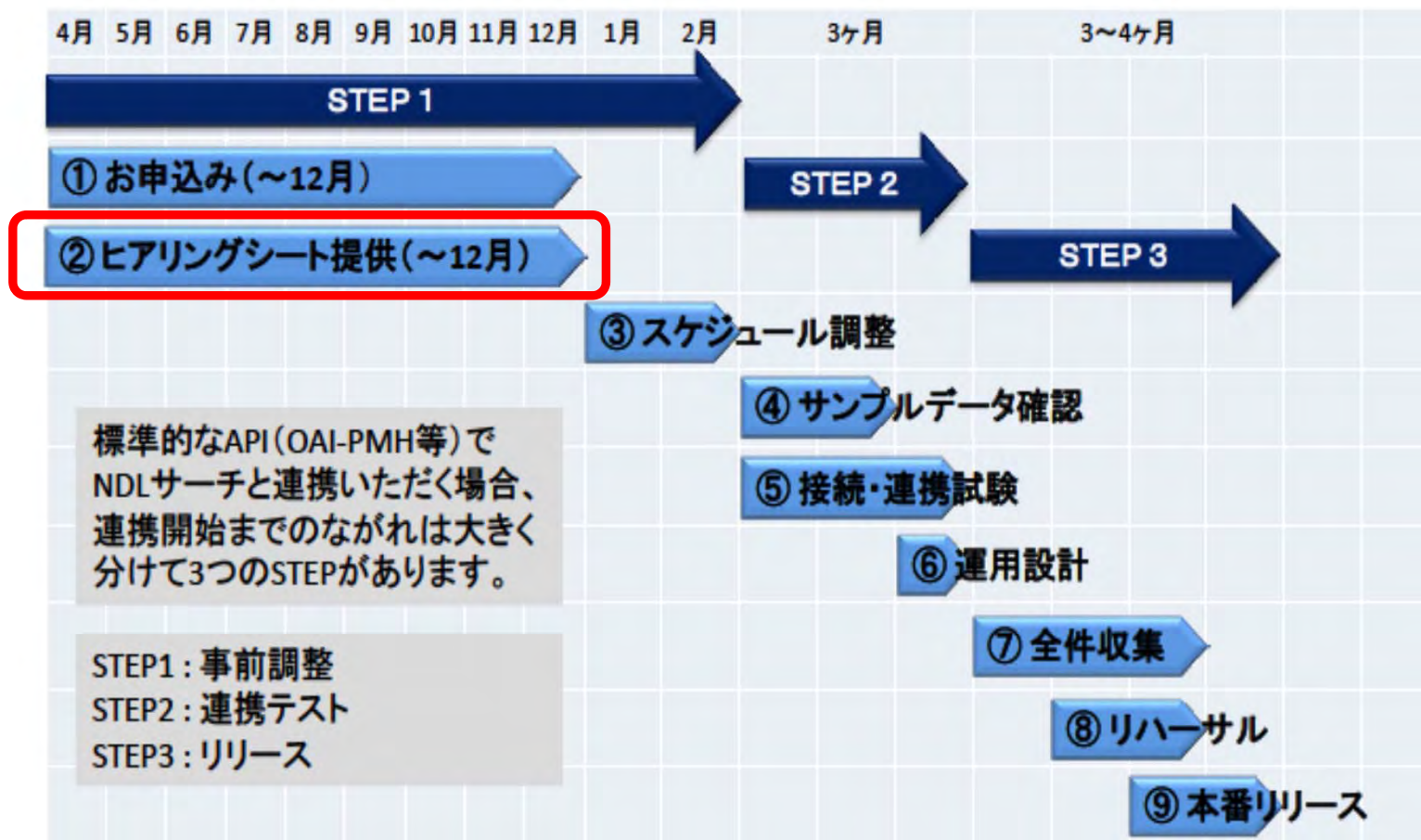
※国立国会図書館サーチのAPIを営利目的でご利用いただく場合、利用申請が必要です。非営利目的のご利用であっても、継続的にアクセスを行なう場合は、国立国会図書館サーチAPI利用申請フォーム(英語版は Application Programming Interface (API) of the NDL Search: Application Form)よりご連絡先、ご利用内容等をお知らせいただけますと幸いです。

※国立国会図書館サーチへのリンクは自由です。著作権・リンクに関しては、「著作権・リンクについて」をご参照ください。

※国立国会図書館サーチにおける個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご参照ください。

STEP1: 事前調整

② ヒアリングシート提供



STEP1: 事前調整

ヒアリングシートをお送りします

- 切り替え希望のご連絡をいただいた後、NDLから「連携ヒアリングシート」をメールでお送りします。これを基に、連携までのスケジュール等を検討させていただきます。
- 各図書館ご担当者様およびベンダ様で内容をご検討の上、入力済みのヒアリングシートをメールでご返送ください。
- ヒアリングシートにご不明な点がありましたら、NDL担当者までお問い合わせください。
- ヒアリングシートの入力内容(特にシステム仕様)につき、ベンダ様にNDL担当者が直接問い合わせを行ってもよろしければ、ベンダ様のご連絡先をお知らせください。

こんなシートです

	A	B	C	D
1	■初期ヒアリング			
2				
3	連携いただくにあたって確認させていただきたい事項です。「ご回答」欄に記載をお願いします。			
4	※ヒアリング項目以外のご不明点・ご依頼事項などは、シート「QA表」にご記入ください。			
5				
6	図書館名:			
7				
8				
9	項番	確認項目	質問	
10	1	データ保有件数	ご提供いただけるデータ(タイトルレベル)の概算を教えてください。	
11	2	更新頻度/件数	データ更新(新規、訂正、削除)を行う頻度(時間帯)、件数を教えてください。	
12	3-1		現在ご想定 of システムリリースのスケジュールを教えてください。	
13	3-2		・システム開発期間	
◀ ▶ (1)連携スケジュール (2)初期ヒアリング (3)仕様確認 (4)QA表 +				

	A	B	C	D
1	■仕様確認			
2	OAI-PMH連携の仕様に関して、事前に確認させていただきたい事項を記載しました。			
3	内容によってスケジュール等へも影響がありますため、あらかじめ記載をお願いします。			
4				
5	図書館名:			
6				
7				
8	項番		質問項目	ご回答
9	① 「WebAPIによるシステム連携ガイドライン」についての確認事項			
10	1		「WebAPIによるシステム連携ガイドライン」に準拠していますか。 ※「ガイドライン」とは異なる実装を予定されている場合は、該当箇所をお知らせください。	
11	② 運用上の制約事項についての確認事項			
12	1		定期的なシステム停止など、アクセス不可となる期間がございましたら、その期間を教えてください。	
13	2		大規模なデータ投入・更新(数万件以上)をご予定でしたら、その時期と概要についてお知らせください。	
14	③ OAI-PMHについての確認事項			
◀ ▶ (1)連携スケジュール (2)初期ヒアリング (3)仕様確認 (4)QA表 +				

STEP1: 事前調整

ヒアリングシートとともに

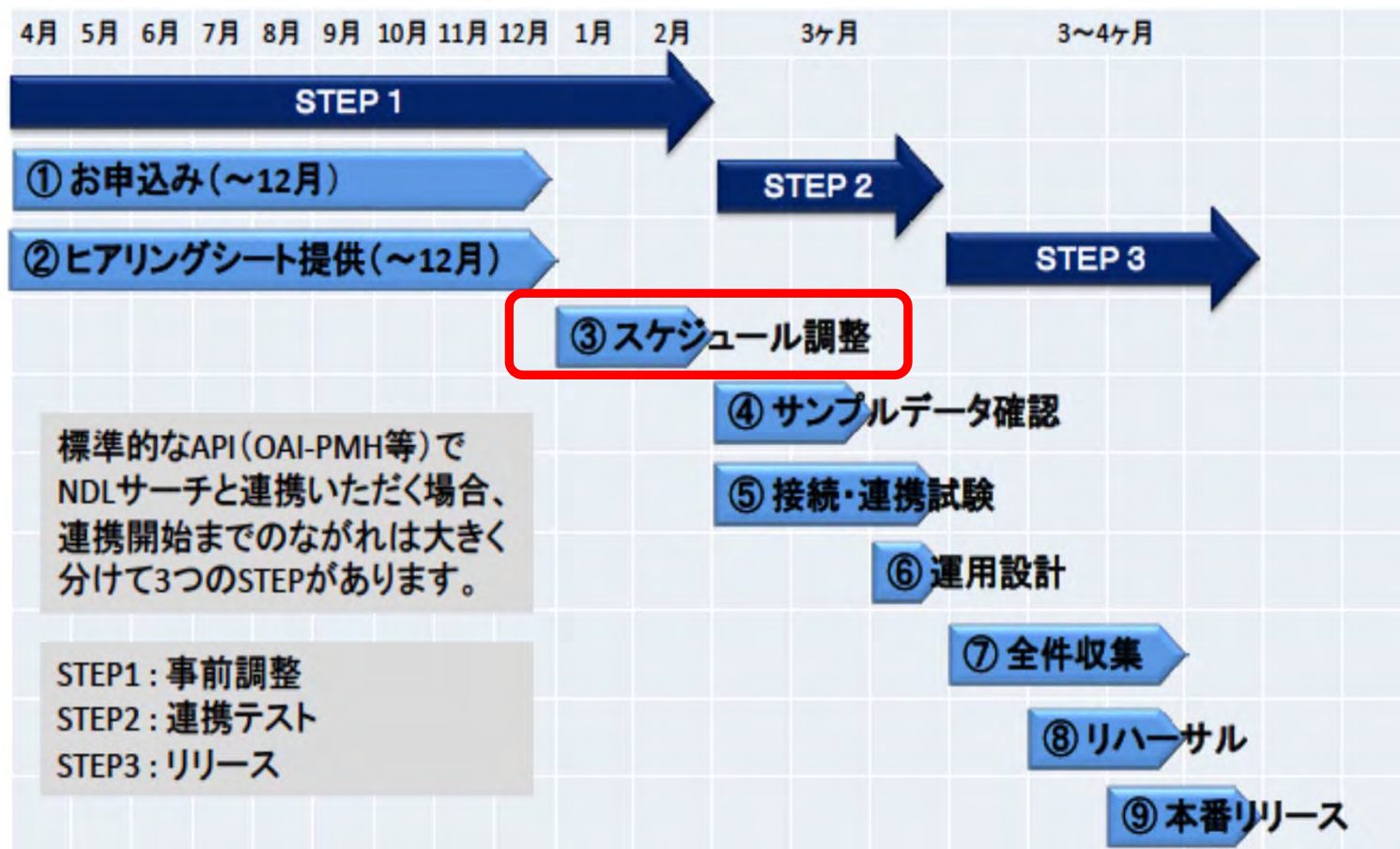
その他、次の資料がありましたら、NDL担当者へご提供ください。

- ① インタフェース仕様書(またはそれに代わるもの)
各図書館システムのOAI-PMHの仕様やアクセス情報(URL)
- ② フォーマット仕様書(またはそれに代わるもの)
各図書館システムの出力項目等を定めたデータフォーマット
- ③ マッピング定義書
各図書館システムの内部データ方式からDC-NDL(RDF)へのマッピングを定義した表

※ご用意がない場合、ヒアリングシートにその旨ご記入ください。

STEP1: 事前調整

③ スケジュール調整



STEP1: 事前調整

スケジュール調整

- ヒアリングシートの情報に基づき、連携開始までのスケジュールをNDLにて調整します。
- 検討後、各図書館にスケジュール案をお伝えします。ご確認をお願いいたします。
- 年度内に連携切替を行うすべての機関(ゆにかねっと連携以外の機関を含みます)につきまして、以後のテスト・リハーサル・リリースを同じタイミングで実施いたします。

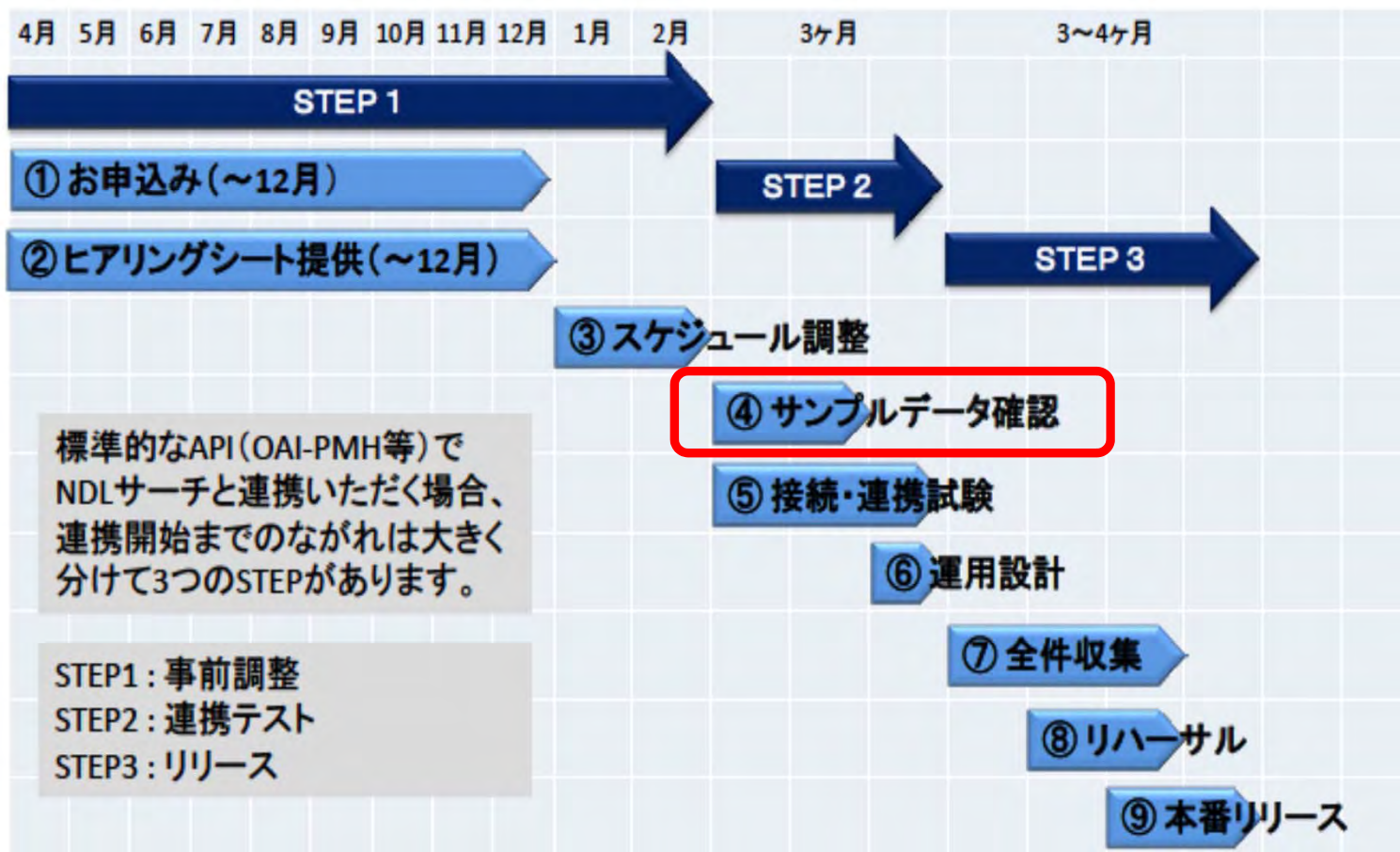
STEP1: 事前調整

来年度スケジュール、ご注意ください！

- ※平成28年度につきましては、すでに予定数以上の図書館からお申し込みをいただいております。これからお申し込みをいただいても、平成29年度以降対応させていただくことが考えられます。
- ※お早目にお申し込みいただければ、データ内容の確認を前もって行い、年度の早いうちに連携切替できるよう準備しておくことができます。
- ※ただし、リプレースにより従来の方式では更新データ(新規作成、訂正、削除)を出力できなくなる等、OAI-PMHへの切り替えを急ぐ場合は、更新データの空白期間ができてしまう可能性があります。大至急おしらせください。

STEP2: 連携テスト

④ サンプルデータ確認



STEP2: 連携テスト サンプルデータのご提供

- 各図書館システムからOAI-PMHでDC-NDL(RDF)のデータを出力できるようになった段階で、サンプルデータをご提供いただきます。
- サンプルデータは1,000件ほど。ご提供方法は次の3つ。
 - ① NDL側からOAI-PMHリクエストを行い取得(リクエストURLが確定し、NDL側から各図書館システムに接続できる環境が構築されていることが条件)
 - ② メールに添付して送付していただく
 - ③ CD-R等の電子媒体に格納して郵送していただく

STEP2: 連携テスト

サンプルデータはこんなデータをください

- さまざまな資料群のデータが提供対象である場合、できるだけすべての資料群のサンプルデータをご提供ください。
- 古い年代、新しい年代のデータを確認するため、できるだけ幅広い年代のサンプルデータをご提供ください。
- 削除データは含まれていても構いません。

STEP2: 連携テスト

このようなデータは含めないでください

各図書館でお持ちのデータの一部のみを本番データとしてご提供いただく場合(資料群や書誌の種類でデータ提供可否が決まっている場合等)、ゆにかねっとで提供する対象資料以外のデータはサンプルから除外してください。

例:

- 雑誌の巻号情報のみが載っているデータ
- 点字データ(提供対象でない場合)
- 雑誌記事(提供対象でない場合)
- 視聴覚資料(提供対象でない場合)

STEP2: 連携テスト サンプルデータ確認 (NDL作業)

- ◆ 次の観点で内容を確認します。
 - データを、NDLサーチのシステムに問題なく登録できるか
 - マッピングが各図書館のご希望通りに、正しく行われているか
- ◆ サンプルデータ確認後、各図書館に確認結果をお送りします。ご確認いただき、全件データ収集するタイミングまでに修正するか、連携に影響がない場合はそのままとするか、等をご判断ください。

データ修正例

極端な例:

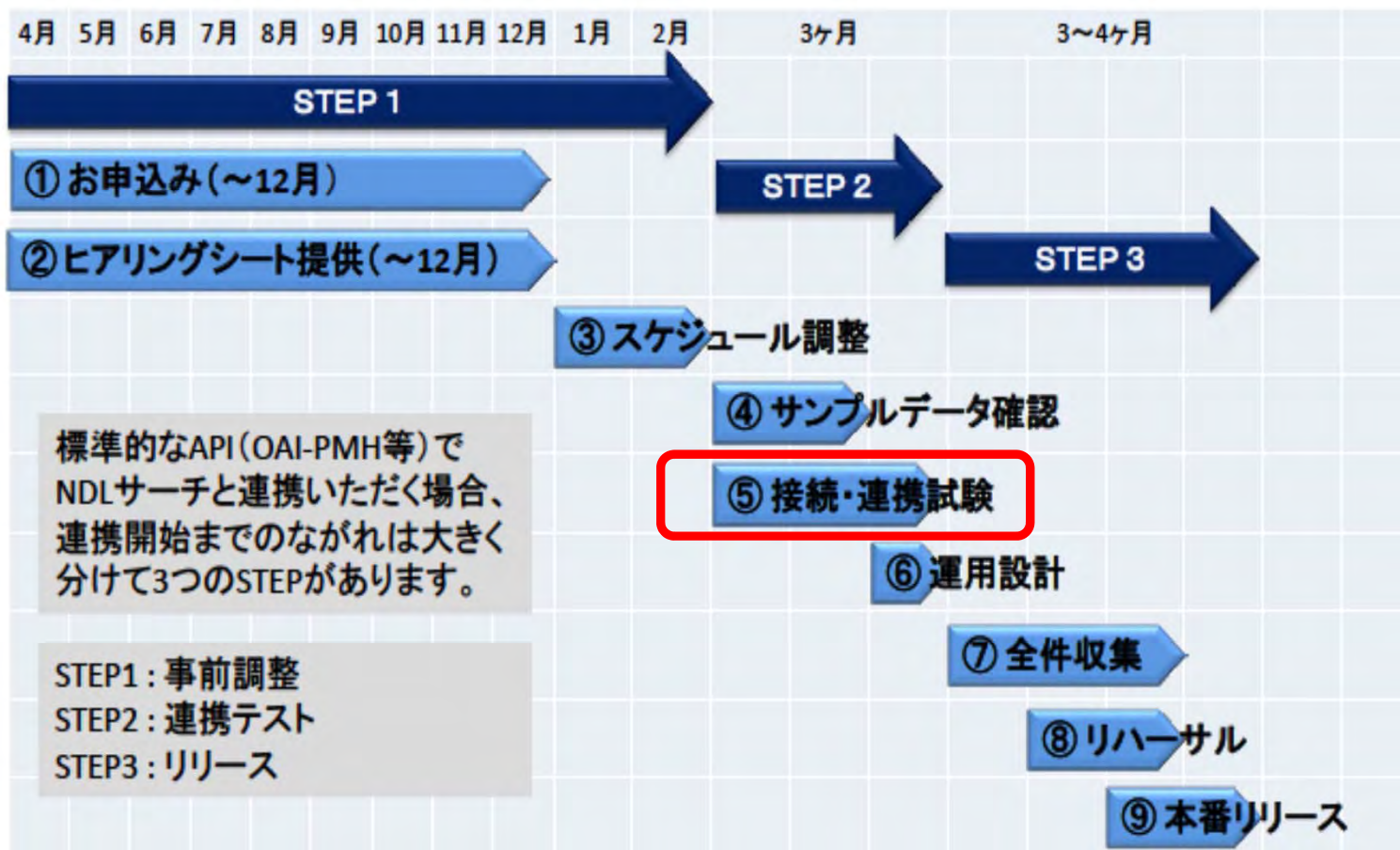
- 著者名がタイトルにマッピングされている

よくある例:

- itemがない
- itemに所蔵機関名、所蔵機関コードがない
- itemのsomokuBibIDとsomokuSubIDの組み合わせが間違っている
- 書誌情報と個体情報の組み合わせが間違っている
- extent(大きさ、容量等)がNDLサーチに送られてこない
- タグのみで、書誌の中身がない

STEP2: 連携テスト

⑤ 接続・連携試験



STEP2: 連携テスト 接続試験

各図書館システムへNDLからの接続試験を次のタイミングで実施いたします。

◆各図書館システムへの接続試験

- ヒアリングシートにてご提供いただいた各図書館システム環境へNDLから接続できることを確認します。
- IPアドレスの設定が必要な場合はお知らせください。

◆直接リクエスト試験

- サンプルデータをOAI-PMHリクエストによりご提供いただく場合、NDLから接続いたします。

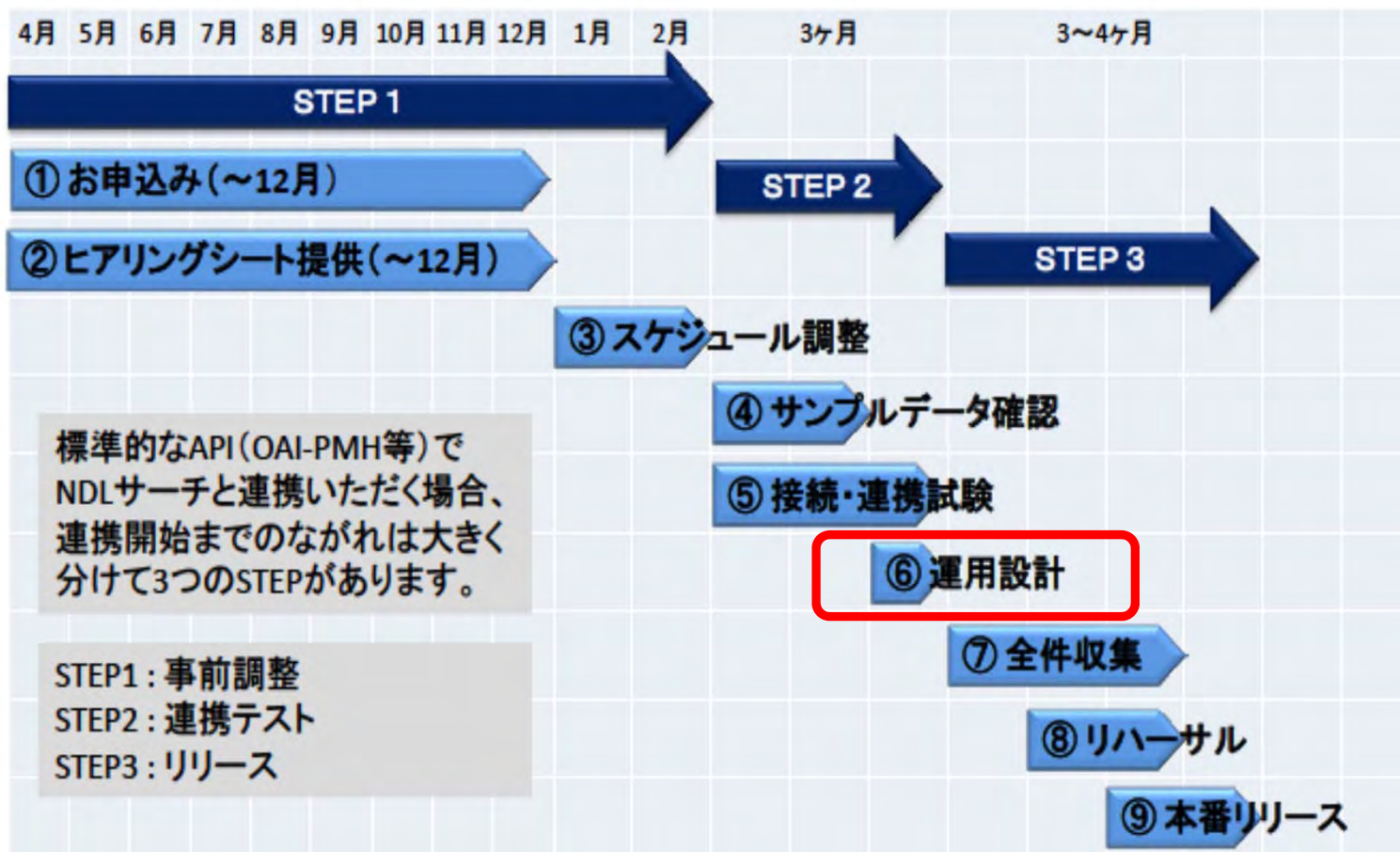
◆連携試験(次のページ)

STEP2: 連携テスト 連携試験

- ◆ 連携試験(できるだけ**全件データ**を**本番環境**でリクエストしたい)
- 各図書館システムからの全件取得にかかる時間を確認します。この確認結果を基に、連携切り替え時の全件収集(媒体×の場合)のスケジュール、更新データ収集時の収集頻度や収集スケジュールをNDLが検討いたします。
- 例えば、30秒間で取得できるデータ数が100件だと、10万件を取得するのに必要な時間は500分＝およそ8時間30分。
- 更新データ(新規作成、訂正、削除)が収集できるか、確認いたします。

STEP2: 連携テスト

⑥ 運用設計

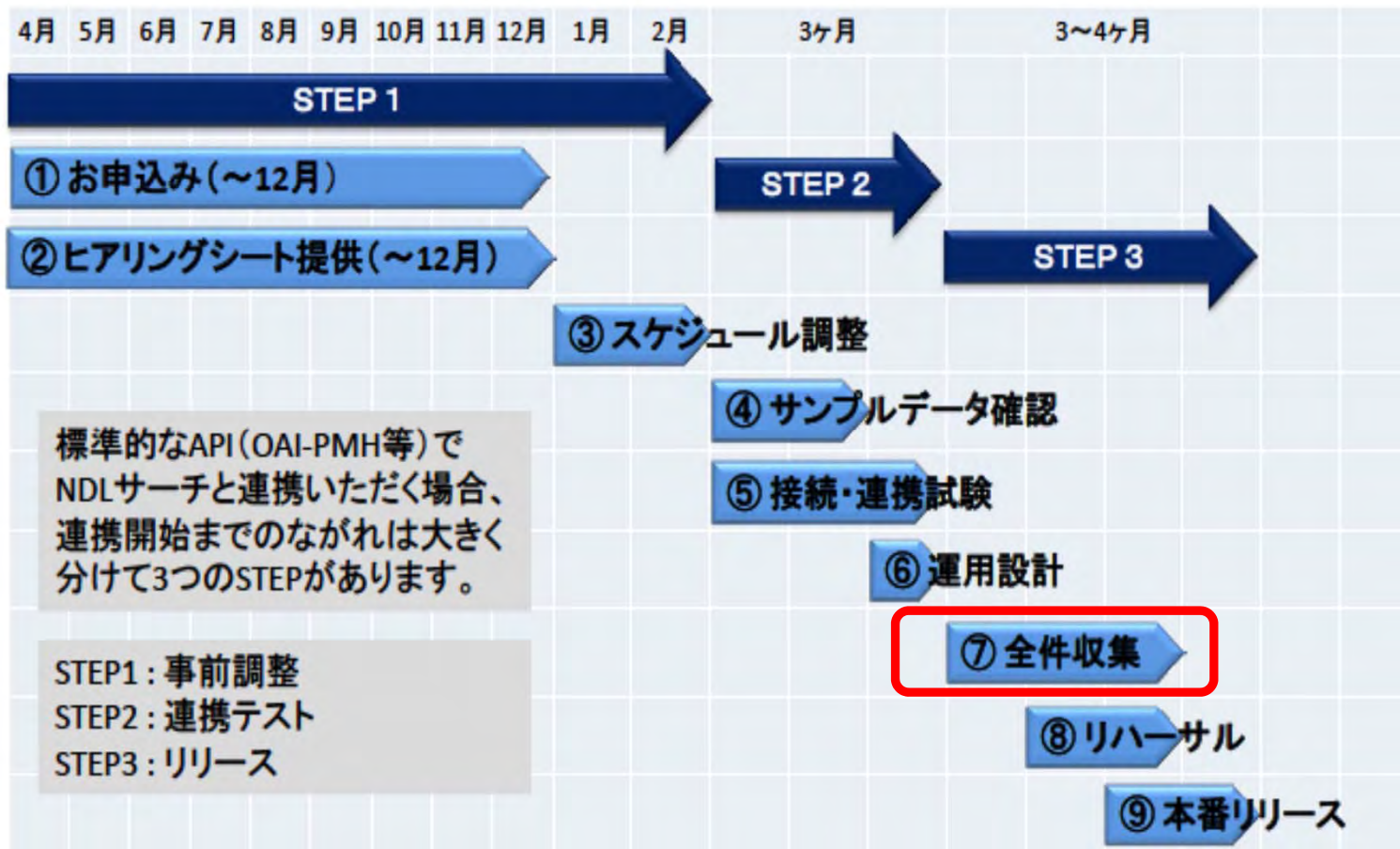


STEP2: 連携テスト 運用設計

- ヒアリングシートや連携試験の確認結果を基にNDLが検討した、**更新データ収集時の収集頻度、収集スケジュール、リクエスト時間帯**を各図書館にお知らせいたします。
- 各図書館にて問題ないかどうかご確認ください。
- この内容を文書「収集スケジュールに関するお願い」にまとめて、リリース後にお送りいたします。
- その後、文書の内容に変更があった場合はお知らせください。データ更新が停止しないように、収集スケジュール等を再度検討いたします。
- 今後の運用に関する大事な内容です。ご担当を引き継がれる場合には、次の方へ確実に引き継いでいただけますようお願いいたします！

STEP3:リリース

⑦ 全件収集

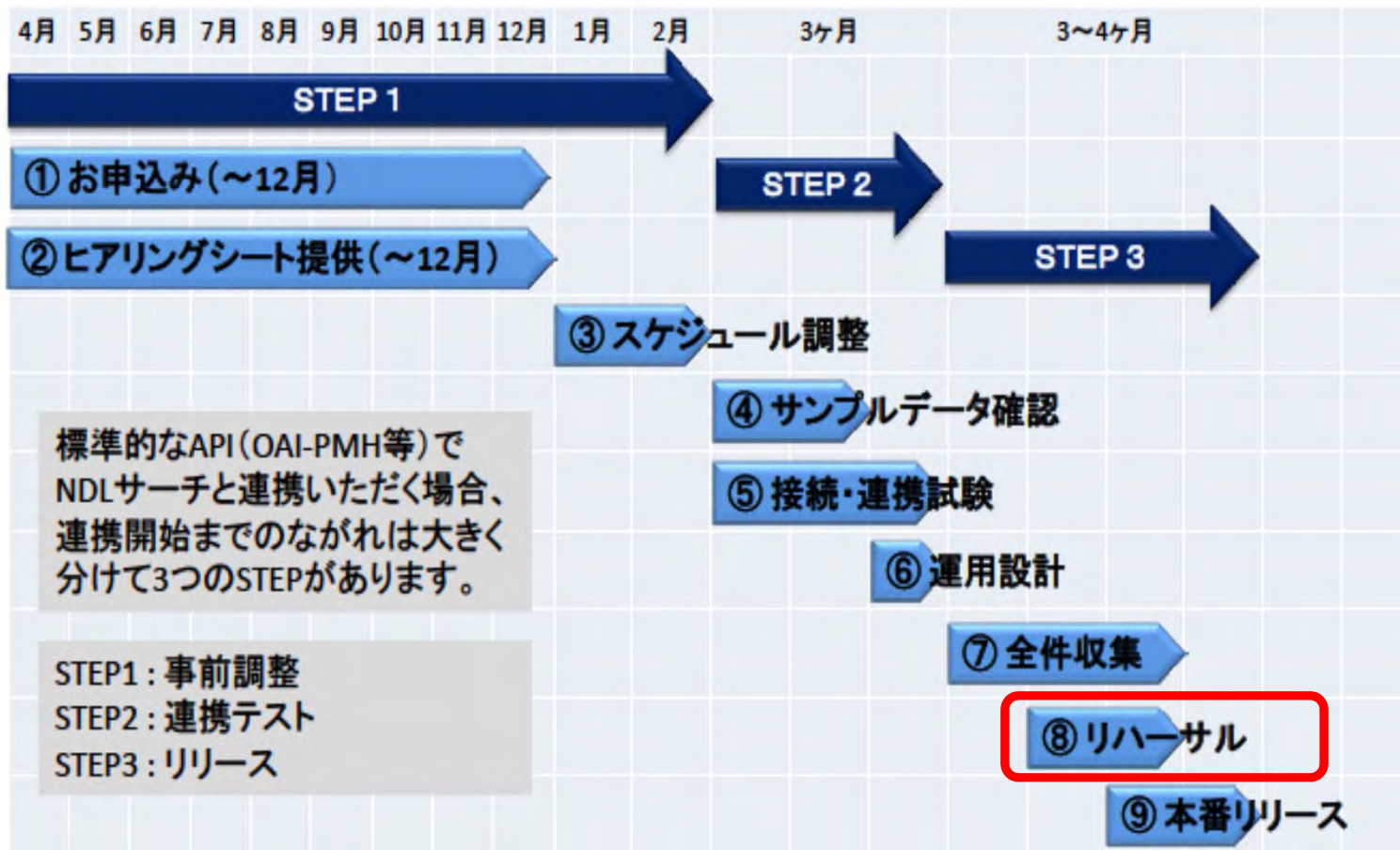


STEP3:リリース 全件データ収集

- サンプル確認後のデータ修正が終わった美しいデータを全件収集します。全件データのご提供をお願いいたします。
 - できるだけ**媒体**でご提供ください。NDL担当者あてに郵送してください。
 - 媒体での提供が不可の場合は、各図書館システムへNDLサーチから直接リクエストを行い、全件データを収集します。
 - データ取得に長時間かかる可能性があります。
 - 24時間リクエストできるよう、サーバの再起動停止をお願いする可能性があります。
- ※この後、データ内容に修正点が見つかった場合は、全件データを再度いただくことになります。

STEP3:リリース

⑧ リハーサル



STEP3:リリース リハーサル

- NDLサーチの検証環境にて、全件データをシステムに登録するリハーサルを実施します。
 - データに修正点が見つかった場合には、各図書館にご連絡します。修正内容をご確認のうえ、必要であれば修正後の全件データを再度ご提供ください。
 - 修正後の確認のために、リハーサルは2～3回実施します。
- ※ヒアリングシート、各仕様書、サンプルデータを確認する段階で修正点に気付けると、全件データ再抽出の可能性が減ります！
- ※**全件データ抽出には時間がかかります**。データ修正後に全件データ再抽出となると、さらに時間がかかります。できるだけ早い段階で修正点を見つけられるよう、**事前資料のご提出・調整へのご対応にご協力**をお願いいたします。

STEP3:リリース

リリース予定日の確定

- リハーサル結果に問題ないことを確認できた後、リリース日を確定して各図書館へご連絡します。
- NDLからリリース予告の広報を実施して、館外へお知らせします。

広報対象:

○NDLサーチ API利用者向けご案内

電子メールにて、新規連携先が追加されることなどをご案内します。

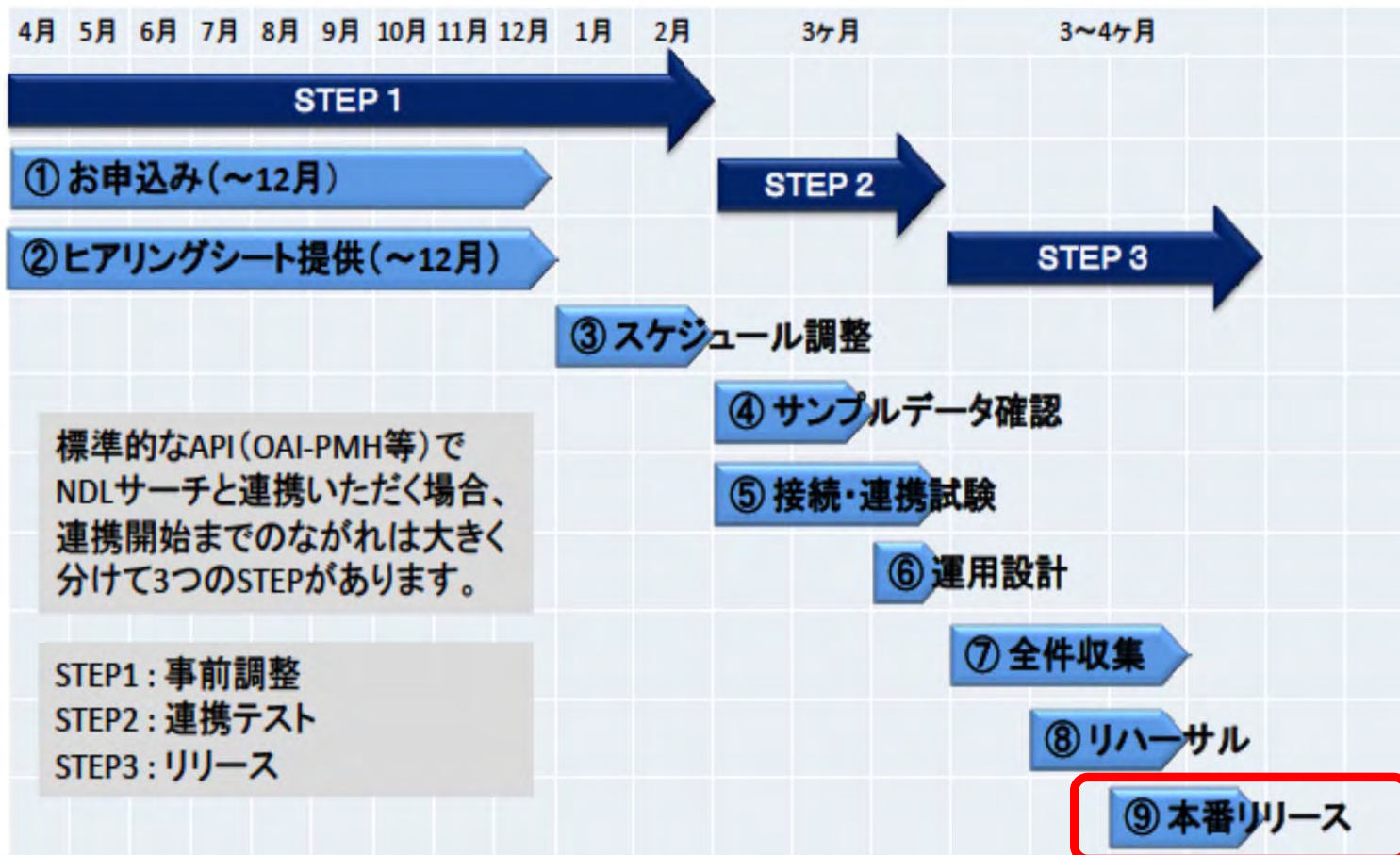
○ゆにかねっと事業ホームページ

<http://iss.ndl.go.jp/somoku/>

ホームページの「お知らせ」欄に、データ入替えが実施されることを掲示します。

STEP3:リリース

⑨ 本番リリース (ついに!)



STEP3:リリース 本番リリース

- NDLにて、リリースが問題なく実施されたことを確認した後、各図書館へリリース完了のご報告をします。
- NDLからリリース完了の広報を実施して、館外へお知らせします。
- 全件データ取得日からの差分データを登録後、定常運用となります！

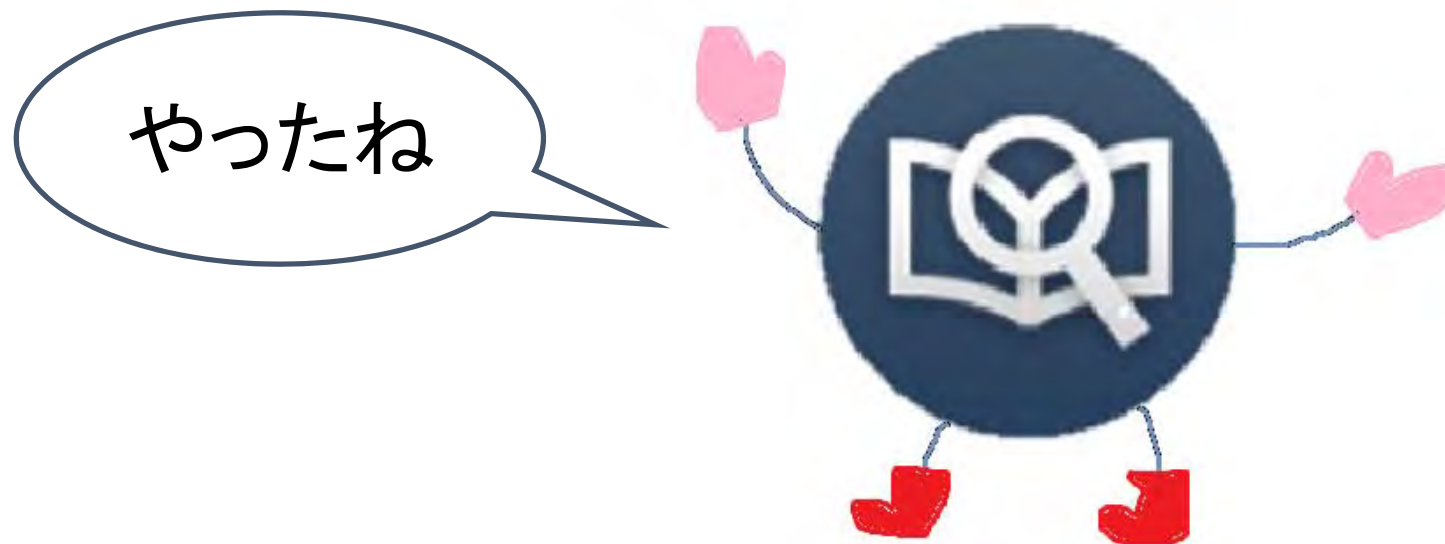
広報対象:

- 国立国会図書館サーチお知らせ <http://iss.ndl.go.jp/information/>
- 国立国会図書館サーチについて＞検索対象データベース一覧
<http://iss.ndl.go.jp/information/target/>
- ゆにかねっと事業ホームページ <http://iss.ndl.go.jp/somoku/>

STEP3:リリース ここにご注意ください

- 参加館情報をご確認ください！
- データ提供館を追加された場合は、参加館情報が更新されているかどうか、ご確認ください。
- 連携切替の場合は、データ登録処理が済んだタイミングで、データ登録結果通知メールをお送りします。通知先のメールアドレス等、参加館情報をご確認ください。
- データ登録結果通知メールの通知先メールアドレスは1つのみ登録が可能です。

STEP3:リリース そして定常運用へ……



STEP3:リリース 収集スケジュールに関するお願い

- リリース前後に「収集スケジュールに関するお願い」をお送りします。
- NDLサーチから各図書館データを確実に収集するために必要な事項を載せています。
- 各図書館とNDLサーチとの、大切なお約束です。
- ご担当の方が変わるときには、必ず引き継いでいただくようお願いいたします！

STEP3:リリース

収集スケジュールに関するお願い

こんなことが書かれています

- ◆調整済みの収集スケジュール(収集頻度、収集時間帯、等)
- ◆データの取得漏れを防ぐため**事前**にお知らせいただきたいこと
 - ① 調整済みの収集時間帯に計画的なサーバ停止(再起動)を実施する場合
 - ② 調整済みの「NDLサーチからリクエストできない時間帯」が変わった場合
 - ③ 大量のデータ更新(目安:1万件以上or通常の10倍量)を実施する場合
 - ④ 停電を実施する場合
 - ⑤ SSLサーバ証明書が変わった場合(リクエストURLがhttpsの場合)

※上記の事項が変わりそうなときは、ご一報を！

その後、全件入替が必要なとき

OAI-PMHへの切り替え後でも、各図書館データにて固有識別子(更新データの同定を行うためのキーとなる記号・番号)を変更された場合には、NDLサーチに格納済の各図書館データを全件削除し、新たに各図書館データ全件を登録(=全件入替)する必要があります！

→固有識別子が変わると、NDLサーチで取得済みのデータと更新データ(新規作成、訂正、削除)とをマージできなくなるためです。

※システムリプレイス等でも、できるだけ変わらないように！

※それでも変わりそうなときは、ご一報を！



連携のこれから

「国立国会図書館サーチ連携拡張に係る実施計画」

- 平成27年4月3日公開
- 次の3点を各機関ご関係の方々と共有することにより、今後の連携拡張を円滑にすすめていくことを目的としています。
- 今後の連携対象機関・システム
- 今後5年間を目途に実現を目指す連携拡張の規模と長期的な目標
- 効率的な連携拡張の方式
- 全文は以下のページで公開しています。

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9207570>

「国立国会図書館サーチ連携拡張に係る実施計画」

4 2) 公共図書館

◆総合目録

- NDLサーチへのデータ提供方式をOAI-PMHに切り替えることに重点を置き、これにより書誌データの更新頻度の向上、NDLサーチから公共図書館の書誌画面へのアクセスの改善等を実現します。
- 年間約5館ずつ切り替えを実施し、現在切替済みの館を含め、5年後には約37館とのOAI-PMHによるメタデータ授受を実現することを目標にしています。

◆デジタルアーカイブ

- APIを実装しているデジタルアーカイブを優先して連携を進めます。
- 年間約3館ずつ連携を行い、5年後には約47館との連携を実現することを目標にしています。

おわりに

- NDLサーチとの連携によって、連携対象機関の方々に対しても、アクセスや利用の増加等のメリットをもたらすと考えています。
- NDLサーチは、公共図書館の方々と一緒に、今後ますます発展することを目指します！

本日はご参加いただき、本当にありがとうございました。

参考

- ・国立国会図書館総合目録ネットワークデータ提供館の方へ [←本日の内容に関するページ](#)
(WebAPI連携ガイドラインやNDLサーチ連携マニュアルを掲載しています)

<http://iss.ndl.go.jp/information/somoku/>

- ・連携を希望される機関の方へ (デジタルアーカイブの連携はこちらに沿って進められます)

<http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/>

- ・メタデータフォーマット仕様について (NDLサーチが提供するメタデータの形式のページ)

<http://iss.ndl.go.jp/information/metadata/>

- ・国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述(DC-NDL)のページ

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta.html>

- ・国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述に関する解説

http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta/about_dcndl.html

- ・国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述に関する実例集

http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta/dcndl_examples.html

- ・API仕様書について (NDLサーチが提供する外部提供インタフェース(API)のページ)

<http://iss.ndl.go.jp/information/api/>

お問い合わせは

<https://iss.ndl.go.jp/information/contact/>

